

今回IVUSについての講義を受けたが、九州（福岡）にてPCIをやっているものとしてはIVUSは敷居の高いものであり、施設によっては前例行っていると聞いて正直驚きました。

そのため講義の内容としては、今回基礎的なIVUSの読影をしていただき非常に勉強になりました。実際の症例を交えてAngioとIVUSの画像を見比べることで今までAngio上でもよく読みとれなかった病変が少し理解できるようになったと思います。

たとえばAngio上ではhemotomaなのかはまったく読み取れなかつたものがIVUSを使うことで一目瞭然であり、当然hemotomaであれば対処法も違ってくるためAngioの限界を目の当たりにしました。いままで教科書などでしかなかなかIVUSを見ることができず今回は多くの症例でAngioとIVUSを比較することができ大変有意義でした。

ただしやはり一番大事なのはAngioの読みでありIVUSを使うことでAngioの読影力もあげることができると実感しました。

今後DESステント全盛の時代においてはIVUSでの評価は必要不可欠であり、今のうちからもっと多くの症例を実際にIVUSを用いて治療していくことの大事さを痛感しました。次回もし参加できるのであればIVUSをPCIに有効活用するやり方まで教えていただければと思います。